

皆様、如何お過ごしでしょうか。

現在、新型コロナウイルスの影響が世界中に及び、各国で多くの措置が取られています。皆様の生活にも大きな影響を及ぼしていると存じます。

アフリカでも感染が広がっています。セネガルと周辺国も、ご案内の通り例外ではありません。セネガルでは、3月2日に最初の感染が公表され、現在の感染者数は累計1433名、うち死者12名、治癒493名（5月6日現在）となっています。世界の他の地域に比して感染者数は、比較的少ないとされていますが、アフリカにおける感染拡大防止は国際社会の大きな関心事項となっています。

セネガル政府はいち早く対策をとり、空港閉鎖、夜間外出禁止、州間移動の禁止、集会の禁止などを実施してきました。また、経済・社会面での影響を緩和するため、セネガル政府は新型コロナウイルスを受けた経済・社会レジリエンス・プログラムを発表しました。最近では、日々の検査数も大きく増え、感染拡大防止に向けたセネガル政府の強い意志が感じられます。こうしたセネガル政府の取り組み、そして日々リスクと向き合いながら治療や救命のために尽力されている医療関係者の方々に敬意を表します。

大使館としては、在留邦人の方々へ感染状況や現地政府の措置などについて情報提供に努めております。加えて、希望する方の帰国支援など、出来る限りのお手伝いをさせていただいております。

4月には、複数国にある日本大使館が関係機関と連携して大規模帰国オペレーションを実施しました。当館においても、邦人の方達の退避のため、ダカール、コナクリ、アビジャンを経由し、日本までの商用便等のあるアディスアベバまでのチャーター便を手配しました。結果として、このチャーター便では、セネガルに在留されていた邦人の方32名、他国籍の方21名を含め、合計115名の帰国が実現しました。オペレーション全体では、300名以上の邦人の方が無事に日本に帰国されました。関係の方の多大な尽力に深く感謝いたします。

希望されて未だ帰国が実現していない方もいらっしゃいます。引き続き支援をして参りたいと存じます。

事態が一日も早く好転して、正常に戻ることを願っております。皆様のご健康をお祈り申し上げます。